

# 女の視点 男の目線

あすなろという樹がある。昔話で、明日は檜になりたいといつも願って頑張っけなげな努力をしていたという。故事にならってあすなろを名乗る団体も数多い。

「釧路あすなろクラブ」は経済研修団体として会員数50人。設立

45年の古参である。例会では年間テーマに乗っ取り研究発表などが行われる。今年度は「発見・知見・想見・夢釧路」知らない釧路を発見しようとか会員も知恵を絞っている。今月の例会では「大胆宣言！日本一住みやすい釧路移住計画」が発表された。なぜ？では

その一部を紹介。

春。桜前線の終着駅、日本一遅いお花見が楽しめます。本州では見られないジンギスカン。採るも食べるも良し

の山菜があふれます。

夏。大自然がいつせいに芽吹く。昨年のデータでは最高気温28度と真夏日はありません。これは寒いではありません涼しいのです。全市クーラーが無料で入っているのです。真夏に部屋の窓を閉めて寝るなんて、防犯

殆んどありません。湿原ではハイケボタルの観察など大自然の豊かな恵みを享受する事が出来ます。祭りも賑やかに行われ、締めくくりに花火大会は圧巻です。  
秋。収穫の秋。山海の珍味が食卓にのぼります。阿寒湖ではマリモ祭り、イヨマンテの火祭りなど幻想的なイベントが開催されます。  
冬。長く厳しい冬ですが高性能住宅の普及で暖かい部屋でアイスやビールに舌鼓を打つ贅沢。雪は少なく日照量は道内トップクラスです。氷上でのスケート、ワカサギ釣り。冷え切った体は温泉

## 住みやすい釧路移住計画

で温める。動物園に行かなくても天然記念物の丹頂鶴、特に会いたくなくてもエゾシカにもお目にかかれます。  
地球温暖化の影響で道東が冷帯から温帯に入ったとの報道もあるようです。これからは北海道が、いいえ釧路が日本で一番住みやすい場所となるのです。

さて、皆さんこの計画みんなで大声で広めて見ませんか！（あすなろクラブ第3部会発表より抜粋）

永田 敦子

(インターネットコーディネーター・釧路町在住)



上素晴らしい事です。飛行機もカテゴリーⅢAの導入で欠航は